

12月施行！逗子市長選挙！現職『桐ヶ谷覚氏』の推薦が 10月25日開催の連合神奈川執行委員会で決定しました!!

10月25日に行われました、連合神奈川執行委員会にて、三浦半島地域連合が上申していました逗子市長選挙における、現職『桐ヶ谷覚氏』の推薦が決定しました。

『桐ヶ谷覚氏』は、この4年で逗子市の財政再建を果たし、10月に行っています政策・制度要求と提言につきましても、働く者の意見を真摯に受け止めて、昨年度に三浦半島地域連合が政策・制度で訴えていた急傾斜地対策や教育支援・企業の活性化・誘致なども着実に進んでいます。

これまで働く仲間、地域に住む人々に理解ある政策を進めてきた現職『桐ヶ谷覚氏』の当選に向け、構成組織・産別のご支援ご協力をお願いいたします。（逗子市長選挙は本年12月4日告示、11日投開票 予定）

逗子市長
桐ヶ谷さとる

◆市民を笑顔にする5つのビジョン

- 1 子育て世代をバックアップします!
- 2 高齢者サービスを拡充します!
- 3 地球環境を守り、災害から市民の生命と財産を守る!
- 4 起業サポートと企業誘致を進めます!
- 5 魅力あふれる街へ再開発を進めます!

◆施策推進を支える2つの財源策

- 1 逗子経済の活性化へ!
- 2 起業と企業で、歳入アップへ!

VISION 4 起業と企業で歳入アップへ! 起業サポートと企業誘致に取り組みます

インフラ整備とともに、環境や防災に対する意識の向上を。

頻発した「崖崩れ」に、逗子らしい根本的な解決策を。

4年間で、約30箇所の「崖崩れ」が発生。若い生命が奪われた悲しい事故もあり、最速で対応しています。ただ、やみくもに自然を破壊してコンクリートで固めてしまう単純な工事（かさぶたを作るようなこと）は、必ずしも逗子にふさわしいとは思いません。災害から市民の生命と財産をしっかり守りつつ、自然との共存と安全の両立をめざすことが逗子らしい自然災害への備えと考えます。

- ・急傾斜地の緑を保全する崩壊対策工事や崖崩れを起こした箇所の緑を復元する崖地対策。
- ・防災DXの推進として、「指定避難所への通信インフラの整備」、「災害の発生情報や危機管理情報をPCやスマホに配信」、「クラウド録画型やセンサーを急傾斜地へ設置し監視」などを強化。
- ・民間企業との連携により、自然災害の回避と安全性を向上。



三浦半島地域連合が政策・制度要求と提言で訴えてきた①企業の活性化誘致②急傾斜地対策③教育支援にも積極的に取り組んでいます。

教育支援策

子どもたち、一人ひとりに寄り添える教育現場の実現と「明るく元気な先生」と呼ばれるようなファイトあふれる指導者を育成。

子どもたち一人ひとりを大切にする教育現場へ

- ・少人数指導教員、特別教育補助教員、巡回指導教員の配置
- ・フォローアップ学習体制の整備。

悩みや心の相談に寄り添える体制

- ・人材や環境を整備。
- ・スクールサポーターや虹色サポーターの配備や育成。

教師や指導者たちの育成

- ・子どもファーストな視点で、柔軟に対応できる人材育成。
- ・「元気な先生」を支援できる体制づくり。

次世代へのアプローチ

- ・ICT指導員によるDX社会への対応促進。
- ・プログラミングなどの新しい学習課題への率先した対応。
- ・英語をはじめとした語学の学びの充実。
- ・将来的に必要な性の高いアフタースクールの整備。

